

事務事業名		つばきまつり運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業		
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		
	施策名	015 豊かな地域資源を活用した観光の振興				
	基本事業名	011 観光客の誘致と観光宣伝の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成18 年度～)		
根拠法令				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		
所属	部課名	農林水産部農林課		事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)		
	課長名	菅原 博幸				
	係名	農政係	電話			27-3111
	担当者	佐々木 智紘	内線			7124
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・気仙フラワーランド構想に基づく花きの生産拡大・産地化の核施設として位置付けられている『世界の椿館・基石』の有効活用を図るため、「つばきまつり」を開催している。 ・市民及び来訪者に対して「市の花ーつばき」「椿の里 大船渡」のPRを行うとともに、花きの生産振興と消費拡大を図り、地域の活性化に資することを目的としている。 ・実行委員会は市農林課が事務局となっているが、平成26年度からは(一社)大船渡市観光物産協会に事務補助を依頼している。 ・実行委員会の業務は、①企画、②実行委員会の開催、③ポスター等印刷物の作成・配布、④構成団体への連絡や調整、⑤会場設営等準備、⑥まつりの運営、⑦会計、支払など。				全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
				総投入量(千円)	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	0
					事業費計(A)	0
					正規職員従事人数	
					延べ業務時間	
					人件費計(B)	0
					トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) つばきまつり実行委員会に運営業務を委託した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア つばきまつり開催日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>イ イベント開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア つばきまつり開催日数	日	イ イベント開催回数	回	ウ	
名称	単位								
ア つばきまつり開催日数	日								
イ イベント開催回数	回								
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 (直接の対象) つばきまつり実行委員会 (間接の対象) 世界の椿館・基石入館者(市民、観光客)	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 実行委員会構成団体数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>キ 入館者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 実行委員会構成団体数	団体	キ 入館者数	人	ク	
名称	単位								
カ 実行委員会構成団体数	団体								
キ 入館者数	人								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 実行委員会が適正に機能することにより、つばきまつりを魅力あるものとし、多くの人が椿館(つばきまつり)を訪れるようになる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ つばきまつり時の1日当たり世界の椿館・基石入館者</td> <td>人/日</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ つばきまつり時の1日当たり世界の椿館・基石入館者	人/日	シ		ス	
名称	単位								
サ つばきまつり時の1日当たり世界の椿館・基石入館者	人/日								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 大船渡市を訪れてもらい、椿に興味をもっていただく。									

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	事業費計(A)		千円	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200	200	200
		人件費計(B)	千円	800	800	800	800	800	800
		トータルコスト(A)+(B)		千円	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800
⑤ 活動指標		ア	日	65	66	65	66	66	
		イ	回	21	31	21	25	25	
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	団体	9	9	9	9	9	
		キ	人	10890	10129	11000	11500	12500	
		ク							
⑦ 成果指標		サ	人/日	168	153	169	174	189	
		シ							
		ス							

事務事業ID	0511	事務事業名	つばきまつり運営事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	当市は、「椿の里」として、椿をキャッチフレーズとした街づくりを進めており、この街づくり構想との整合を図るため、平成9年に椿を中心に花を題材とした交流施設である「世界の椿館・基石」が開館し、その有効利用を図るため「つばきまつり」が開始された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・いまだ「世界の椿館・基石」(つばきまつり)に来館したことがない市民が多数見受けられる。 ・当市では観光資源として椿を捉えてきたが、震災後、産業資源としての可能性を見出され、現在各方面から着目されている。 ・平成26年度から(一社)大船渡市観光物産協会へ事務局補助を依頼している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	毎年、つばきまつりを楽しみに大船渡を訪れているので、これからも継続してほしいという多くの要望が来場者から寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	つばきまつりを実施することにより「世界の椿館・基石」の来場者が増えることにより、観光客に対して椿の里としての認知度を高めることができ、産業の振興につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	大船渡の観光イメージとして、椿の里づくり推進及び花きの生産振興を目的としており、目的達成のため継続の必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	つばきまつりの実施により、世界の椿館・基石を魅力あるものとし、来場者を増加させることが目的の事業であることから対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	PRの強化、「つばきまつり」「世界の椿館・基石」の展示内容、イベントの見直し等により、来場者の増加を図ることができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	「世界の椿館・基石」の来場者の減少が予想され、観光客に対して椿の里としての認知度を高めることができなくなり、産業の振興を図ることができない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	つばきまつりの運営を目的とする「つばきまつり実行委員会」に委託する際、見積書の提出を求め、内容を精査している。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	つばきまつり実行委員会を組織してイベントの企画・運営を行っているが、現在のところ、実行委員会の事務処理等を市で担わなければ実行委員会の運営が困難であることから、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	受益者負担が伴わない事業である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		現状維持で継続する。	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
	コスト																						
	削減	維持	増加																				
向上																							
維持		●	×																				
低下		×	×																				
大船渡市は平成33年度の全国椿サミット開催地に名乗りを挙げているため、つばきまつりでも全国椿サミットにまつわるイベントを実施する必要がある。																							

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	当面は現状維持で継続するものの、平成33年度に当市で開催を希望している全国椿サミットに向け更なる工夫・検討が必要。